

(湯川村・JA会津よつば共同出資型農業法人)

株式会社 会津湯川ファーム

が設立されました！！

去る7月24日(火)に、JA会津よつば湯川支店研修室において、湯川村・JA会津よつば共同出資型農業法人である

かぶしきがいしゃあいづゆがわ

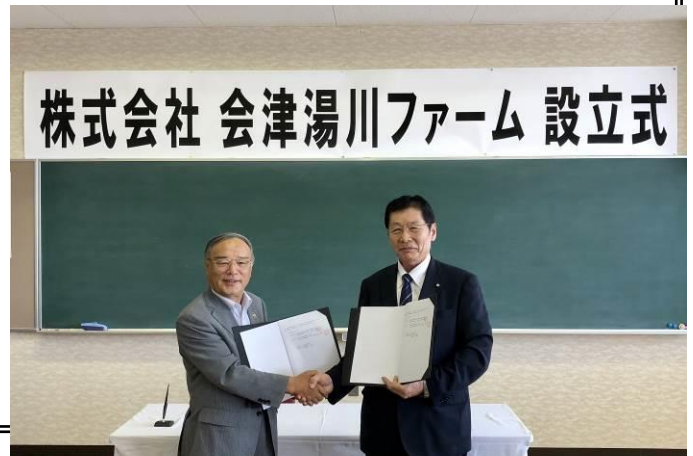
「株式会社会津湯川ファーム」の設立式が、ご来賓多数のご臨席のもと盛大に開催されました。

本法人の設立及び役員について取り急ぎ皆様へお知らせするとともに、今年度の事業内容・皆様へのご案内等につきましては、現在準備を進めておりますので、整い次第、今後あらためて皆様へ詳細をお知らせいたします。

◇裏面へ設立発起人(村長・JA組合長)挨拶を掲載しております。

◇法人事務所については、JA湯川支店西側駐車場敷地内へプレハブハウスを設置し、業務開始に向けて準備を進めております。

(固定電話についても現在準備中ですので、電話番号等が決定次第皆様へお知らせいたします。)



「株式会社会津湯川ファーム」役員

↑会社定款へ調印した三澤村長と長谷川組合長

役職名	氏名	備考
代表取締役	常法寺 康文	非常勤役員(現湯川村副村長)
取締役 (業務担当役員)	鈴木 幸男	常勤役員 (前JA会津よつば営農部長)
取締役	長谷川 正市	非常勤役員 (現JA会津よつば代表理事専務)
取締役 (総務担当役員)	長谷川 正春	非常勤役員 (前湯川村地域振興課長)
監査役	渡部 務	非常勤役員(前湯川村会計管理者)
監査役	猪俣 裕嗣	非常勤役員(現JA会津よつば監事)

「株式会社会津湯川ファーム」設立発起人あいさつ(7/24 設立式資料より)

湯川村は、稲作を中心とした「農業」を基幹産業としており、これまで担い手農家を中心に継続的で安定した農業経営の確立を目指し取り組んでまいりましたが、担い手農家の高齢化や後継者不足等により耕作継続が困難となる農地の発生が懸念されることから、その解決を図るため、会津よつば農業協同組合とともに、村内農地の保全と担い手の育成を目的とした、県内でも数少ない、自治体及びJA共同出資型農業法人として「株式会社会津湯川ファーム」を設立するに至りました。

この会社は、当面、稲作を中心とした農業経営を行いながら、農地保全と担い手育成を行うこととしており、将来的には、米の輸出や6次化農産製品の製造・販売、施設園芸による複合経営等についても視野に入れ取り組んでまいります。

村としましても、この会社が、地域の担い手と連携しながら、村内約1,000町歩の農地を守り、担い手の育成に寄与できる法人となるよう全力でバックアップするとともに、本格稼働に向け、研修機能を備えた農業振興施設の整備を計画的に進めてまいります。

また、会社設立に係る村の出資金には、ふるさと納税の寄附金を財源とした「農業振興基金」を活用しており、全国47都道府県の寄附者の皆様には厚く御礼申し上げますとともに、今後は、この会社の活動等についても定期的に情報発信等を行ってまいりますので、関係者皆様のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



湯川村長
三澤 豊隆

本日、ここに株式会社会津湯川ファーム設立式を開催しましたところ、行政・関係機関の皆様におかれましては、時節柄何かとご多忙のところご臨席を賜り誠にありがとうございます。また、本日の設立に至るまで関係各位の、多大なるご指導ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

この農業法人の設立は、地域農業を支える担い手の高齢化や農業後継者不足等の解消と、今後見込まれる農地の流動化対策や地域農業の振興・維持・発展の一翼を地域の担い手農家並びに農業法人と連携しながら、湯川村とJA会津よつばで担うことを目的とするものであります。

当法人は、営利目的並びに地域の担い手農家や農業法人と競合することなく、効率性をもった業務の補完や連携を行い、各組織の利点を生かしながら、地域に根差した地域農業振興の発展に寄与して参ります。

農業を取り巻く環境は依然、厳しい状況ではありますが、農家と地域社会から期待される役割を發揮するべく、引き続き皆様の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、発起人の挨拶といたします。



会津よつば農業協同組合
代表理事組合長
長谷川 一雄